

受験番号 氏名

--	--

実技試験 (鉛筆写生)

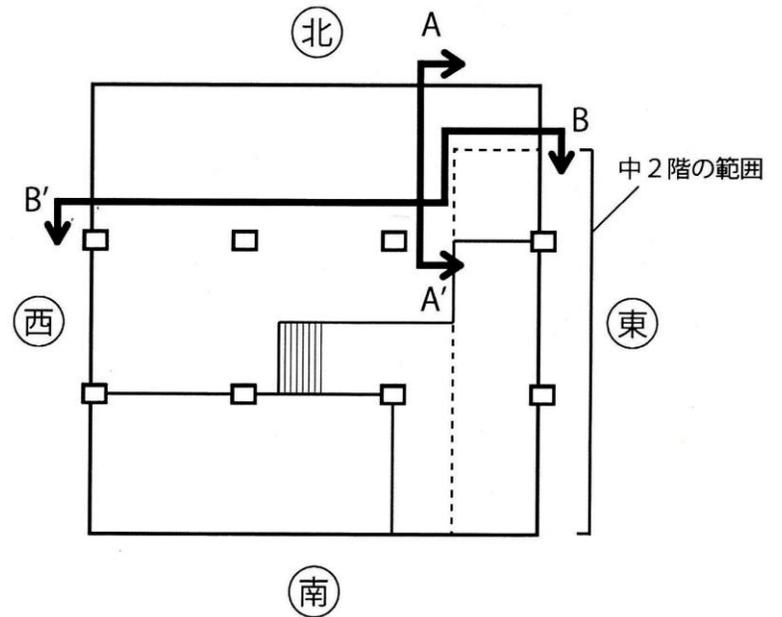
9月20日(日) 10:00-13:00

- 課題**
- ① A3方眼用紙に、大石膏室の東側立断面図を描く。
 - ② A3方眼用紙に、大石膏室の南側立断面図を描く。

1. 配布物

- ・ 課題用紙 (本紙)
- ・ 提出用A3方眼用紙×2枚
- ・ 提出用A3方眼用紙×2枚
- ・ 画板

※なお、配布物は終了後すべて回収します。



2. 写生の対象

試験会場である、大石膏室内。建築物本体のほかにも、建具、手摺、照明器具を含む。縮尺1/100程度の図面を製図する場合を想定した時に省略すると考えられるものや、展示されている石膏像及び台座は含まない。

(試験会場：天野太郎設計 元芸大建築学科教授 1970年竣工)

3. 写生の内容

① 東側立断面図

東側立断面図の野帳をフリーハンドで作成する。A-A'位置(上図参照)の断面を描き、東壁面の立面を描き加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

② 南側立断面図

南側立断面図の野帳をフリーハンドで作成する。B-B'位置(上図参照)の断面を描き、南壁面の立面を描き加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

4. その他 注意事項

- ・ 寸法線も含めてフリーハンドで描くこと。定規の使用は不可とする。
- ・ 写生の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ 立断面図作成のために、A-A'およびB-B'ライン付近に立ち入ることは可とするが、中2階は立入禁止とする。
- ・ 静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損したりすることのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、提出用A3方眼用紙、下書き用A3方眼用紙、すべてに受験者の志望専攻・受験番号を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。

2021 年度 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻
保存修復(建造物) 入学試験

筆答試験 (1) 小論文

受験番号 _____ 氏 名 _____

問題：都市において、歴史的建造物を保護する社会的な意義と、現在の状況に応じた歴史的建造物の持続的なあり方について、1200字程度で述べなさい。

2021年度 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復(建造物)入学試験

筆答試験（2）専門問題

受験番号 _____ 氏 名 _____

問題Ⅰ 次の①から⑧の建造物から5つを選び、建設年代、規模や構造形式、主な建築的特徴を各100字程度で記しなさい。なお、建設年代は「○世紀」のような大まかな時期の表記でもよい。

- ① 法隆寺金堂 ② 薬師寺東塔 ③ 平等院鳳凰堂 ④ 三仏寺奥院投入堂
⑤ 浄土寺浄土堂 ⑥ 円覚寺舍利殿 ⑦ 東大寺金堂(大仏堂) ⑧ 出雲大社本殿

問題Ⅱ 日本の世界文化遺産19件から1件、重要伝統的建造物群保存地区120地区（集落・町並みの保存地区）から1件をそれぞれ選び、その名称を記して、各200字以内で説明しなさい。

（1）世界文化遺産 名称：

（2）重要伝統的建造物群保存地区 名称：

問題Ⅲ 次の①から⑧の建築部材から4つを選び、それぞれ50字程度で説明しなさい。

- ① 頭貫 ② 虹梁 ③ 肘木 ④ 尾垂木 ⑤ 隅木 ⑥ 茅負 ⑦ 棟木 ⑧ 鬼瓦

問題Ⅳ 以下の3つの建築用語を用い、神社建築の形式について、150字以内で説明しなさい。

流造 神明造 権現造

問題Ⅴ 以下の3つの建築用語を用い、伝統的な屋根について、150字以内で説明しなさい。

檜皮葺 妻飾 軒唐破風